

第12回 日本水大賞

2010 日本ストックホルム青少年水大賞



美しい水環境を守る
取組みを募集します

募集
期間

2009.

7/7

火

11/30

月

日本水大賞

大賞 (賞状・副賞200万円)

大臣賞 (賞状・副賞50万円)

市民活動賞 (賞状・副賞30万円)

国際貢献賞 (賞状・副賞30万円)

日本ストックホルム青少年水大賞

大賞 (賞状・副賞20万円)

ストックホルム青少年水大賞

国際コンテストへの参加

<詳しい内容、応募方法は、下記URLホームページをご覧ください。>

【お問い合わせ・お申し込み先】 事務局 (社)日本河川協会 〒102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5 麹町E・C・Kビル3F
URL:<http://www.japanriver.or.jp/taisyo/> TEL.03-3238-9771 (平日9:15~17:30) FAX.03-3288-2426

主催/日本水大賞委員会 名誉総裁:秋篠宮文仁親王殿下 委員長:山岸哲 副委員長:虫明功臣 委員:赤星たみこ、石井弓夫、大垣真一郎、大田弘、松田芳夫、伝川幹、進士五十八、須藤隆一、千賀裕太郎、徳川恒孝、藤吉洋一郎、吉川廣和
後援/環境省、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、(財)河川環境管理財団、(社)日本経済団体連合会、(財)世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)、全国市町村教育委員会連合会、全国都道府県教育委員会連合会、(社)土木学会、(社)日本河川協会、(社)農村環境整備センター、(独)水資源機構、読売新聞社、(独)国際協力機構、他 協賛/(株)建設技術研究所、(株)東京建設コンサルタント、日本工営(株)、パンフィックコンサルタンツ(株)、ライオン(株)、(社)日本建設業団体連合会、「川の日」実行委員会

※本事業は、(財)河川環境管理財団 河川整備基金の助成を受けて実施しています

日本水大賞

(1) 対象となる活動の内容（活動分野）

水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、以下のような分野における諸活動（研究、技術開発を含む）を対象とします。（* 純粋な学術論文は除きます）

①水環境

川や湖沼、海などの水をきれいにする・水辺の生き物やそのすみかを大切にする・水辺や水のある地域づくり

②水資源

水を大切にする・山や川などの水源を大切にする・異常渇水のときに被害を少なくする

③水文化

水や川や湖沼、海などに対する敬意と親愛を高める・水や川や湖沼、海などの文化を創ったり広めたりする（芸術、文学を含みます）・地域における水文化を発掘したり普及する

④水防災

水災害に対する安全性の向上に資する技術を開発し、普及する（ハイテク機器、文化財、ライフライン等を水災害から守る）・雨をためる、しみこませる、ゆっくり流す・河川の伝統的技術や災害体験の継承等啓発・普及

* その他、上記①～④に関係する国際的な連携・技術協力・学会活動

(2) 対象となる活動主体

水循環系の健全化に寄与すると考えられる上記の活動をされている方々で個人、法人、行政、グループ（団体）の種別、年齢、職業、性別、国籍等を問いません。

日本水大賞の内容

応募いただいた活動の中から、優れたものに対して、以下の賞を授与し、広く公表します。なお、副賞は受賞活動を更に継続していただくよう授与しています。

①大賞【グランプリ】（賞状・副賞200万円）

水循環の健全化を図る上で、活動内容が幅広くかつ社会的貢献度が高く、総合的見地から特に優れたものに対して授与します。

②大臣賞（賞状・副賞50万円）

【国土交通大臣賞】【環境大臣賞】【厚生労働大臣賞】【農林水産大臣賞】【文部科学大臣賞】【経済産業大臣賞】
各省の行政目的に関係の深いものの中から、特に優れたものに対して授与します。

③市民活動賞【読売新聞社賞】（賞状・副賞30万円）

市民活動の中から、特に優れたものに対して授与します。

④国際貢献賞（賞状・副賞30万円）

活動の範囲や効果が国際的であり、人・文化・技術の日本との交流も含め、大きな功績をあげていると考えられるものに対して授与します。

⑤奨励賞（賞状・副賞10万円）

①から④の上記各賞の他に特に優れたものに対して、(2)に示す各活動主体（学校、企業、団体、個人、行政）ごとに授与します。

⑥審査部会特別賞（賞状・副賞10万円）

日本ストックホルム青少年水大賞

(1) 対象となる活動の内容

水質改善、水資源管理、水保全、または水や排水の浄化による生活の質の向上を目指す理論的および応用的調査研究、さらに調査研究にもとづく地域社会の水問題を解決するための実践的活動を対象にします。なお、全ての活動は調査研究にもとづく手法を用いること、つまり、統計解析を含めて、実験、観測、結果報告において科学的に妥当な手法を用いることが条件です。なお、大賞受賞者はストックホルムで開催される国際コンテストの日本代表として参加していただきます。

(2) 対象となる活動主体

高等学校または同等の学校（ただし高等専門学校については1年生から3年生まで）に在籍している20歳未満の生徒または生徒の団体（クラブなど）が応募できます。

日本ストックホルム青少年水大賞の内容

応募いただいた活動の中から1次書類審査を通過した数チームは2次審査の発表、面接をへて以下の賞を授与します。

①大賞【グランプリ】（賞状・副賞20万円、ストックホルム青少年水大賞国際コンテストへの参加費用）

②奨励賞（賞状・副賞10万円）

③審査部会特別賞（賞状・副賞10万円）

詳しくは（社）日本河川協会ホームページをご覧ください。

応募用紙（様式1～3 および添付資料）作成上の注意

様式-1

<活動の名称>

: 当該活動内容を簡潔に表現する名称を記入して下さい。

<活動主体>

: 学校、企業、団体、個人、行政の中から一つ選んで、○をつけて下さい。

<分野>

: 水環境、水資源、水文化、水防災の4分野の中から選んで、○をつけて下さい。（複数回答可）

<活動主体の概要>

- ・活動主体の名称 : 団体の場合は、団体名を記入して下さい。また、活動主体が複数の場合は、代表となるグループを記入し、その他は組織の概要の欄に記入して下さい。個人応募の場合は氏名を記入して下さい。また、応募が対象者と異なる場合は応募担当者欄に担当者名をお書き下さい。
- ・代表者名 : 団体の場合は、団体の代表者名を記入して下さい。
- ・設立年月日 : 活動主体が設立された年月日を記入して下さい。
- ・住所／電話等 : 住所（郵便番号）、電話番号、FAX番号、E-mail等の連絡先を記入して下さい（少なくとも、住所（郵便番号）と電話番号は記入して下さい）。
- ・主な活動地 : 「〇〇県〇〇市〇〇川河川敷」の要領で記載して下さい。複数の都道府県にまたがる際は、その旨記載して下さい。
- ・組織の概要 : 組織の概要を記入して下さい。個人応募の場合は履歴をお書き下さい。

<応募担当者>

- ・氏名 : 応募主体の連絡担当者名を記入して下さい。
- ・所属 : 所属機関・団体等の名称、部署を記入して下さい。
- ・住所／電話等 : 住所（郵便番号）、電話番号、FAX番号、E-mail等の連絡先を記入して下さい（少なくとも、住所（郵便番号）と電話番号は記入して下さい）。

<応募活動の概要>

: 300文字以内で記入して下さい。

<応募活動のアピールポイント>

: 箇条書きで100文字以内で記入して下さい。

<これまでの受賞歴>

: 現在までに、当該活動に対して表彰されたことがある場合には、その内容、時期等を記入して下さい。

※日本水大賞への既往応募歴がある場合は、必ず記入して下さい。

<「日本水大賞」をどこで知りましたか？>

: この「日本水大賞」をどこで知りましたか、教えて下さい。

様式－2

<活動の概要>

- ・ 目 的 : 活動の目的を記入して下さい。
- ・ 内 容 : 参加人数、所要資金、活動の内容等、応募活動の具体的内容を記入して下さい。
- ・ 活動期間 : 活動を始めてから現在までの期間を記入して下さい。また、活動主体が設立される以前の活動があれば、それも併せて記入して下さい。

様式－3

<活動の必要性、緊急性>

: 社会的ニーズ等を踏まえた当該活動の意義、必要性、重要性、緊急性を記入して下さい。

<活動の効果、社会への波及効果>

: 当該活動が水循環系の健全化にどの程度寄与するのか、具体的に記入して下さい。また、社会へどのような効果が期待できるのか記入して下さい。

<活動を実施する上での留意点、工夫された点、苦勞された点>

: 当該活動を実施する上で、特に留意した点、工夫した点、苦勞した点などを記入して下さい。

<活動の今後の計画>

: 当該活動を今後どのように展開していく予定なのか等の計画を記入して下さい。

<活動の推薦者>

: 活動の推薦者がいれば、推薦者の所属・部署、電話番号と推薦の言葉を記入して下さい（必須事項ではありません）。

添付資料

: 応募用紙の他、活動の様子を紹介する新聞記事等、その他資料がありましたらA4版サイズ3枚以内（片面印刷白黒）にまとめて添付して下さい。

応募用紙の記入は、できる限り Word か一太郎または Excel をご使用の上、フォントは明朝体 10.5 ポイント以上でお願いします。その際、応募用紙 A4 サイズ 3 枚を超えることはできません。応募の際は、出力書類と併せて電子データ(CD 等)もご提出下さい。

手書きの場合もこれに準じて下さい。（手書きの場合は、電子データは不要です。）

前回の受賞者の応募書類を下記の HP で公開しております。

URL : http://www.japanriver.or.jp/taisyo/no10/taisyo_frame.htm の前回の応募書類をご覧下さい。

第12回（2010年）「日本水大賞」募集要項

1. 目的

地球は水の惑星といわれており、水は自然界の中で循環し、その過程で災害により幾多の被害をもたらす一方で、人間を含む地球上の生命を育み、生存を支え、汚染を浄化してきました。

我が国は、高度成長期を通じて、都市への人口の集中と産業活動の集積、産業形態の変化等が進み、国民の生活も高度化が進んできました。この過程の中で降雨の流出および水利用の形態の変化による悪影響、水質の悪化、生物の多様性の喪失等、水循環系に関する様々な看過できない弊害が露呈してきました。

それに加え、近年の地球規模での気候変動等を背景として、我が国においても集中豪雨の多発化や小雨傾向が顕著になってきています。

このような人為的な活動および地球規模の気候変動による水循環系の変化は、現代社会の持続可能な発展を根底から揺るがす恐れもあり、重大な認識を持って健全な水循環系の再生に取り組まなければなりません。健全な水循環系とは、流域を中心とした一連の水の流れの過程において、人間社会の営みと環境の保全に果たす水の機能が、適切なバランスの下にともに確保されている状態のことです。こうした、健全な水循環系の再生は、産学官はもとより民間非営利組織（NPO）や一般住民の方々まで含めて、一体となって取り組む必要があります。

日本水大賞は、安全な水、きれいな水、おいしい水にあふれる21世紀の日本と地球を目指し、水循環系の健全化に寄与することを目的としています。

なお、日本ストックホルム青少年水大賞の受賞者は2010年夏にスウェーデンで開催されるストックホルム・ジュニア・ウォーター・プライズの国際コンテストにおける日本代表候補となります。（詳細は「日本ストックホルム青少年水大賞募集要項」参照）

本賞を実施するために、日本水大賞委員会を設け、企画・運営・審査を行います。

2. 対象範囲

(1) 対象となる活動分野

水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、以下のような分野における諸活動（研究、技術開発を含む）を対象とします。

①水環境：例えば、以下の視点などから実施される諸活動

- ・川や湖沼、海などの水をきれいにする
- ・水辺の生き物やそのすみかを大切にする
- ・水辺や水のある地域づくり
- ・水に関わる体験活動、環境学習

②水資源：例えば、以下の視点などから実施される諸活動

- ・水を大切にする
- ・山や川などの水源地を大切にする
- ・異常渇水の際に被害を少なくする

③水文化：例えば、以下の視点などから実施される諸活動

- ・水や川や湖沼、海などに対する敬意と親愛を高める
- ・水や川や湖沼、海などの文化を創ったり広めたりする（芸術、文学を含む）
- ・地域における水文化を発掘したり普及する

④水防災：例えば、以下の視点などから実施される諸活動

- ・水災害に対する安全性の向上に資する技術を開発し、普及する（ハイテク機器、文化財、ライフライン等を水災害から守る）
- ・雨をためる、しみこませる、ゆっくり流す
- ・河川の伝統的技術や災害体験の継承等啓発・普及

*その他、上記に関係する国際的な連携・技術協力・学会活動

*日本ストックホルム青少年水大賞への応募については、上記に関係する調査研究および調査研究にもとづいた実践的活動（詳細は「日本ストックホルム青少年水大賞募集要項」参照）

(2) 対象となる活動主体

水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、以下のような方々が実施する諸活動を対象とします。なお、個人、法人、グループの種別、年齢、職業、性別、国籍等を問いません。

①学校

- ・小学校における川や水をテーマにした総合的な学習やクラブ活動など
- ・中学校、高等学校における全校的な社会的活動やクラブ活動など
なお、高等学校または同等の学校で、日本ストックホルム青少年水大賞に応募する場合は、「日本ストックホルム青少年水大賞募集要項」による（日本水大賞は活動重視、日本ストックホルム青少年水大賞は研究重視となります。）
- ・大学、専門学校などにおける研究や技術開発は、その成果が実社会に導入され効果をあげているもの、または市民活動へ還元するものを対象とし、いわゆる純粋な学術研究にとどまっているものは除く

②企業

- ・企業が行う生産過程などにおける環境対策、社会や地域への貢献活動、製品・サービスの普及による社会貢献並びに国際貢献に特に優れた実績を上げたもの

③団体

- ・NPOなど民間で組織する団体または公益法人が行う活動など

④個人

- ・個人が主体で行っていると認められる研究や技術開発、文化活動または節水、水質保全のための生活改善運動などの諸活動

⑤行政

- ・地方自治体の市民連携活動および政策や制度など
- ・水防団、消防団などで行う活動など

以前に応募された活動主体や奨励賞、審査部会特別賞を受賞された活動主体もふらってご応募下さい。過去に「日本ストックホルム青少年水大賞」を受賞された活動主体も応募が可能です。また、日本水大賞、日本ストックホルム青少年水大賞への同時応募も可能です。

なお、これまでに「日本水大賞」（大賞、大臣賞、市民活動賞、国際貢献賞）を受賞された活動主体も①受賞後の活動に発展性がある場合、又は②受賞した内容活動が異なる場合、応募が可能です。①の場合は受賞後に発展した内容を記入してください。

3. 日本水大賞の内容

対象となる活動の中から、優れたものに対して以下の賞を授与し、広く公表します。なお、副賞は受賞活動を更に継続していただくよう授与しています。

①大賞【グランプリ】（賞状・副賞200万円）

水循環の健全化を図る上で、活動内容が幅広くかつ社会的貢献度が高く、総合的見地から特に優れたものに対して授与します。（国内外で広く活動内容を啓発するようお願いいたします）

②大臣賞（賞状・副賞50万円）

【国土交通大臣賞】【環境大臣賞】【厚生労働大臣賞】【農林水産大臣賞】【文部科学大臣賞】
【経済産業大臣賞】

各省の行政目的に関係の深いものの中から、特に優れたものに対して授与します。

③市民活動賞【読売新聞社賞】（賞状・副賞30万円）

市民活動の中から、特に優れたものに対して授与します。

④国際貢献賞（賞状・副賞30万円）

活動の範囲や効果が国際的であり、人・文化・技術の日本との交流も含め、大きな功績をあげたものに対して授与します。

⑤奨励賞（賞状・副賞10万円）

①から④の上記各賞の他に特に優れたもの及び今後の活動が期待されるものに対して、2. (2) に示す各活動主体（学校、企業、団体、個人、行政）に授与します。

⑥審査部会特別賞（賞状・副賞10万円）

活動がユニークなものなど、審査部会において特に表彰に値すると判断されたものに授与します。

⑦タイムリー賞

水に関係する動・植物あるいは景観や人（日本水大賞に該当しない場合）が、社会的に明るい話題を提供し、水に対する社会の関心を高めるなどの点において貢献したものに授与します。この賞は日本水大賞委員会において選定します。（公募はしません）

4. 日本ストックホルム青少年水大賞の内容

- ①大賞【グランプリ】（賞状・副賞20万円、ストックホルム青少年水大賞国際コンテストへの参加費用）
- ②優秀賞（賞状・副賞10万円）
- ③審査部会特別賞（賞状・副賞10万円）

高等学校または同等の学校（ただし、高等専門学校については1年生から3年生まで）に在籍している20歳未満の生徒または生徒の団体（クラブなど）による調査研究および調査研究にもとづいた実践的活動のうち特に優れたもの。受賞者は2010年にストックホルム（スウェーデン）で開催されるストックホルム・ジュニア・ウォーター・プライズの国際コンテストにおける日本代表候補となります。

（応募要領は日本水大賞と大きく異なりますので、日本ストックホルム青少年水大賞募集要項を参照して下さい）

5. 選定の方法等

日本水大賞委員会の下に、上記の3. および4. の賞を選考するために各々の審査部会を設置し、表彰対象となる活動を審査し、最終的には日本水大賞委員会が決定します。

6. 審査基準

以下の項目などを基準に審査します。すべての項目に該当している必要はなく、いずれかの項目において優れている活動についても受賞対象となります。

- ・対象となる活動が時代のニーズに適合し、緊急性が高いもの（活動の意義、必要性、重要性、緊急性の視点）
- ・対象となる活動が水循環の健全化に大きく寄与し、または寄与することが期待できるもの（活動の効果、社会への波及効果の視点）
- ・対象となる活動が困難であるにもかかわらず、創意工夫を重ね、積極的に取り組んでいるもの（注意した点、工夫した点、苦勞した点の視点）
- ・対象となる活動が長年にわたり継続的に実施され、または今後とも継続的に実施されることが期待され、水循環の健全化に寄与するものとして広く認知されているもの（継続性の視点）
- ・その他、活動の内容に応じて以下の要件についても審査する
 - 1) 研究、技術開発活動においては、対象となる活動の成果が広く社会に普及して水循環の健全化に役立つもの（いわゆる学術論文は除く）
 - 2) 地方自治体・市民団体の活動においては、対象となる活動が地域の要望ならび地域の特性を十分踏まえ、独創性に優れ、水循環の健全化に寄与するもの
 - 3) 企業の製品開発や生産過程における環境対策、社会や地域への貢献活動、製品の普及努力による社会貢献や国際貢献への実績などを通じて、水循環の健全化に対して大きな効果をあげたもの
 - 4) 国際的なNPOの連携、国際学会における活躍、海外に対する支援・協力など、国際的に大きな功績をあげたもの

7. 募集期間

平成21年 7月 7日 ～ 11月30日（郵送の場合は当日消印有効）

8. 応募方法

別添の応募用紙（3枚）に必要事項をご記入の上、応募用紙および添付資料を事務局宛送付または持参して下さい。応募用紙の記入方法は、できる限りWordか一太郎またはExcelをご使用の上、字体は明朝体、10.5ポイント以上でお願いします。その際、応募用紙A4サイズ3枚を超えることはできません。提出方法は出力書類と併せて電子データ（CD-ROM等）もお願いします。手書きの場合もこれに準じて下さい（手書きの場合は、電子データは不要です）。

応募用紙の他、活動の様子を紹介する新聞記事等、その他資料がありましたらA4サイズ3枚以内（片面印刷）にまとめて添付して下さい。応募用紙および添付資料が電子データの場合は、E-mail (taisyo@japanriver.or.jp) でも応募を受け付けます（送付の後、必ず確認の電話をして下さい）。

ご応募いただいた書類は、日本水大賞委員会に帰属するものとし、書類を基に資料を作成・公表することを妨げないものとします。（入賞作品についてはホームページ上で公開いたします）また、ご応募いただいた書類、資料は返却いたしません。

応募用紙の取得は、ホームページからダウンロードして下さい。

（諸事情によりダウンロードが出来ない方は、事務局にご連絡下さい）

※応募で取得した個人情報、個人情報保護に関する法律の法令および関係法令を遵守します。

9. 審査結果の公表

審査の結果は、平成22年3月下旬に(社)日本河川協会のホームページおよび新聞紙上にて公表する予定です。入賞者には個別に連絡いたします。

10. スケジュール

平成21年 7月 7日 (川の日)	日本水大賞募集告知
11月30日	応募締め切り (郵送の際は当日消印有効)
平成21年12月～22年3月	審査
3月下旬	大賞等各賞の受賞者の発表
6月～7月	表彰式および受賞活動発表会の開催

11. 主催等

(1) 主催

日本水大賞委員会

名誉総裁 秋篠宮文仁親王殿下

委員長 山岸 哲 ((財)山階鳥類研究所所長)

副委員長 虫明功臣 (法政大学大学院工学研究科 客員教授)

委員 赤星たみこ (漫画家)、石井弓夫 ((株)建設技術研究所会長)、大垣眞一郎 ((独)国立環境研究所理事長)、大田弘 ((社)日本建設業団体連合会環境委員長)、進士五十八 (東京農業大学教授)、須藤隆一 (生態工学研究所代表)、千賀裕太郎 (東京農工大学大学院連合農学研究科長)、伝川幹 (読売新聞東京本社取締役編集局長)、徳川恒孝 (WWFジャパン会長)、藤吉洋一郎 (大妻女子大学教授)、松田芳夫 ((社)日本河川協会副会長)、吉川廣和 ((社)日本経済団体連合会 廃棄物・リサイクル部会長)

特別委員 (H21.9.1現在)

谷口博昭 (国土交通事務次官)、小林光 (環境事務次官)、水田邦雄 (厚生働事務次官)、井出道雄 (農林水産事務次官)、望月晴文 (経済産業事務次官)

(2) 後援

環境省、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、(財)河川環境管理財団、(社)環境科学会、(社)日本経済団体連合会、(社)砂防学会、水文・水資源学会、(財)世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)、全国市町村教育委員会連合会、全国水防管理団体連合会、(社)全国治水砂防協会、全国都道府県教育委員会連合会、全国内水面漁業協同組合連合会、全国水環境交流会、電気事業連合会、(社)土木学会、(社)日本河川協会、(社)日本下水道協会、日本下水道事業団、(社)日本工業用水協会、(社)日本港湾協会、(財)日本自然保護協会、(社)日本水道協会、日本生活協同組合連合会、(財)日本ダム協会、日本地下水学会、(社)日本の水をきれいにする会、(社)日本水環境学会、(財)日本野鳥の会、日本陸水学会、日本森林学会、(社)農業農村工学会、(社)農村環境整備センター、(独)水資源機構、読売新聞社、(独)国際協力機構、(株)日本政策金融公庫国際協力銀行

(3) 協賛

(株)建設技術研究所、(株)東京建設コンサルタント、日本工営(株)、パシフィックコンサルタント(株)、ライオン(株)、(社)日本建設業団体連合会、「川の日」実行委員会

12. 送付先・問い合わせ先

【日本水大賞委員会事務局】

社団法人 日本河川協会

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5 麹町E.C.Kビル3階

TEL 03-3238-9771 FAX 03-3288-2426

URL <http://www.japanriver.or.jp/taisyo/> E-mail taisyo@japanriver.or.jp

担当 塚本、佐藤 (平日9:15～17:30)

<本事業は、(財)河川環境管理財団 河川整備基金の助成を受けて実施しています>

(整理番号：)

活動の名称	フリガナ		
記入年月日	活動主体 (下記より1つ選択)		分野 (複数選択可)
	学校 企業 団体 個人 行政		水環境 水資源 水文化 水防災
活動主体の概要			
活動主体の名称 (個人応募の場合は個人名)	フリガナ		
代表者名 (団体の場合)	フリガナ	設立年月日	
住所	フリガナ 〒		
電話		FAX	
E-mail			
主な活動地			
組織の概要 (個人の場合は履歴を記入)			
応募担当者 (代表者と違う場合記入して下さい)			
氏名	フリガナ	所属：	役職：
住所	フリガナ 〒		
電話		FAX	
E-mail		URL	
応募活動の概要： (300文字以内で記入して下さい)			
応募活動のアピールポイント： (箇条書き100文字以内で記入して下さい)			
これまでの受賞歴： ※日本水大賞への既往応募歴 (第) 受賞がある場合は 第 () 回 () 賞			
「日本水大賞」をどこで知りましたか？ (数字に○印を付けて下さい) 1. 新聞広告 2. 官庁内ポスター 3. 協会ホームページ 4. 協会からの誘い 5. 国の機関からの誘い 6. 県・市町村からの誘い 7. 教育関係機関 8. その他 ()			

活動の概要

目的 :

内容 :

活動期間 | 自 年 月 ~ 至 年 月 (通算 年 月)

上記の期間以前から一部の活動を実施していた場合はその期間と内容を下に記入してください。

活動の必要性・緊急性 :

活動の効果・社会への波及効果 :

活動を実施する上での留意点、工夫された点、苦勞された点 :

活動の今後の計画 :

応募推薦者 (必要な場合にご記入ください)

氏名		推薦の言葉 :
所属		
電話		
氏名		推薦の言葉 :
所属		
電話		